



工事全景写真



ウエストポイント市内



ヨコハマ・ブルバード



横浜ゴム 米国新タイヤ工場 新築工事

カジマ・ビルディング&デザイン・グループ社 プロジェクトマネージャー

伊佐野 建

Tatsuru Isano



ミシシッピ州ウエストポイント市

北米大陸で最長のミシシッピ川の東側に位置するミシシッピ州は、近年、多くの米国企業および外国企業が進出して、生産拠点を構えている。地理的には、米国南東部のほぼ中心に位置し、南東部の各中核都市（アトランタ・ダラス・ヒューストン・ナッシュビル）へのアクセスが容易である。ウエストポイント市が位置する地域は、州立大学があるスタークビル、空軍基地があるコロンバス、それにウエストポイントの三市を合わせてゴールデン・トライアングル地域と呼ばれており、三市とその周辺の三郡の自治体が相乗効果を狙って経済活動を行っている。ウエストポイント市から、北に車で一時間の所に位置するテューペロ市は、エルヴィス・プレスリーの生誕地でもある。

プロジェクトの紹介

発注者の横浜ゴム(株)は、一九八〇年代にバリエーション州セーラムにタイヤ工場を取得し、北米のタイヤ市場の拡大と共に成長してきた。本プロジェクトは、北米では二番目の工場だが、初めてのグリーンフィールドからの工場建設となる。本工場は、横浜ゴム(株)が、高い技術力による優位性を発揮できるトラック・バス(TB)用

工事概要

新工場は、五百エーカー(二百万平方メートル)を超える土地に、生産、倉庫、事務所などを備えた工場として建設を進めている。第一期工事は、年間百万本以上のタイヤを生産し、約五百



タイヤ工場 起工式

のタイヤ工場となる。このTBタイヤの市場は、米国の今後の経済成長とともに、市場の拡大が見込まれる。

近年の横浜ゴム(株)は、フィリピン、中国、タイで既存工場の拡張工事を、ロシアとインドでは新工場建設を行っている。さらに、ここ米国ミシシッピ工場の新設により、全世界でタイヤ生産量が増加している。

終わりに

鹿島建設の米国現地法人は、昨年五十周年を迎えた。一九六四年に、ロサンゼルス市「リトル・トーキョー」の再建・美化の要請に応えるために、初めての海外現地法人を設立し、本格的な米国進出を果たした。現在は、全米を統括するKUSA(カジマ・ユー・エス・エー)社の傘下で、建設事業会社五社と開発事業五社が中心となって、全米に事業展開している。それぞれの事業会社は、特定の地域・マーケットにフォーカスして、特徴的なビジネスを展開している。米国におけるカジマグループは、各事業会社の得意分野を活かしながら、相乗的な効果を発揮し、開発・設計・施工の様々な場面で、ユニークなサービスを提供している。

本工場建設工事と同様に、ミシシッピ州政府直接発注の幹線道路整備工事(ヨコハマ・ブルバード)、敷地までの鉄道敷設工事、給水塔工事などが行われている。